

| | | |
|-----|------------|------|
| 学校名 | ふりがな 氏名 | |
| 学年 | 電話番号 | Eメール |

※作文は必ず手書きで記入し、郵送すること。 ※先にGoogleフォームからの申込手続きを済ませてから作成、提出すること。
 ※用紙はこの面をコピーしたものをお使いください。提出時はホチキス等で留めないでください。

令和
6年度

長崎大学

ジュニアドクター育成塾

新しい価値と幸福な未来を創造できる人材育成プログラム

基礎コース

社会情勢の急激な変化により、これまでの常識だけでは直面する様々な問題に対処できなくなってきています。
 そのような問題に対して、地に足をつけて考え、自ら学び、社会を幸せにしつつ自らも幸せな人生を送れたら嬉しいと思いませんか？
 私たちは、そのためにどうしたらよいか真剣に考え、このジュニアドクター育成塾を運営しています。
 少しでも興味があれば、ぜひ応募していただき、一緒に成長していきましょう。皆様のご参加を楽しみにしています。



対象者 小学校5年生～中学校3年生まで

【Googleフォームによる申し込み】

【課題作文】

申込締切 令和6年 5月12日(日) 厳守 | 5月13日(月) 必着

5年間の歩

生涯教育センター

センターの事業に関する様々な動画を配信しています

YouTubeチャンネル



受講料
無料

別途、材料費等が必要な場合があります

募集人数
40名
程度



教育開発推進機構生涯教育センター TEL 095-819-2184
ジュニアドクター育成塾事務局 FAX 095-819-2185

[Eメール]mirai@ml.nagasaki-u.ac.jp 【お問合せフォーム】https://www.chiikiedc.nagasaki-u.ac.jp/inquiry/ 【受付時間】9:30~16:30(月曜日~金曜日/平日のみ)



STEAM教育

本プログラムは、STEAM教育(スティームきょういく)を実現するために構成されたものです。STEAM教育とは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)を統合的に学習する「STEM教育(STEMきょういく)」に、さらにArts(リベラル・アーツ:教養、芸術)を統合した教育手法です。アメリカからやってきたSTEAM教育は、子どもの好奇心、創造性を育てる教育として近年注目され、日本でも現在、文部科学省によって推進されつつあります。

| 令和6年度 年間スケジュール(予定) | | |
|--------------------|--------|-------------------------------------|
| 令和6年 | 6月下旬 | 開講式及び総合授業、研究倫理講座、レポートの書き方講座 |
| | 7月~12月 | 基礎コース講座 (月4回程度、土日祝日実施。長期休暇中は平日実施あり) |
| | その他 | 合宿講座、集中講座、共通講座、企業見学 |
| 令和7年 | 3月中旬 | マスターコース受講生研究発表会・閉講式等 |

※スケジュールは予定です。
※諸般の事情、社会情勢などの影響により変更あるいは中止になる場合がございますので、予めご了承ください。

本プログラムの目的

社会問題に強い関心を持ち、自ら粘り強く課題発見・解決ができ、特定の分野に関して在籍する校種より上位校種の学習内容の知識・技能を活用できる能力を有し、高い研究倫理観を身につけ、自身の未知の課題に対して獲得した知識・技能を活用して独自の解決方法を自身、あるいは異分野の人と協働して解決を図ることができる人材を育てること。

対象

- 小学校5年生~中学校3年生まで ●募集人数:40名程度
- 募集要件

- ①理科や科学、技術、工学などに強い興味があり、将来は科学者、技術者、プログラマー等になりたい人
- ②社会問題を科学技術で解決したいという夢を持っている人
- ③受講期間中に実施するテストなどに参加することができる人
- ④講座中・修了後のアンケート(高校や大学進学した後の活動状況など)に協力できる人
- ⑤自宅でPC等が使える環境があること(無い場合は貸し出せる場合があるので、個別にご相談ください。)
- ⑥Zoomでのオンライン面接・講座への対応ができること
- ⑦講座は実験・実習を主としているため、長崎大学または博物館等の現地において対面で参加できること
- ⑧過去に長崎大学のジュニアドクター育成塾を修了したことがない人

課題

●課題作文 必須

現在、興味・関心を持っていること、また今後どのような研究をしたいか、それをどう役立てたいかについて、所定の課題作文用紙(A4用紙2ページ以内)に書いてください。

●これまでにを行った自由研究等 任意

これまでにを行った自由研究等の内容をA4用紙1枚(書式自由。表裏利用可)にまとめ、提出してください。(特になければ提出しなくても構いません)

基礎コースで扱う各領域
(変更する場合はお知らせいたします)

S

Science 化学・物理 生物・地学

この領域では、物理、化学、生物、地学といった科学の専門分野をテーマに即した形で学びます。受講生は、力や電気・熱、分子や物質、植物や動物、宇宙や水環境などといった身近な問題を科学的な考え方、見方で学ぶことによって、自らの興味や関心、好奇心を育てていきます。この領域に強い関心を持つ受講生は、将来、大学や企業で科学者として活躍していくことでしょう。

講座例

「元素の化学・単体の構造と性質」
「恐竜カードで学ぶいのちのつながり」
「地球は宇宙のどこにあるのか?」など

サイエンスに興味のある小中学生大募集! ~サイエンスから広がるモノづくりと情報の世界~



T

Technology 情報

この領域では、科学が社会でどのように実用化されているかを学びます。受講生は、プログラミングの考え方やロボット製作、3Gのゲームソフトで街づくりを行い、論理的思考力や課題解決力を培います。この領域に強い関心を持つ受講生は、将来、プログラマーやシステムエンジニア、その他、様々な領域での活躍が見込まれます。

講座例

「プログラミング入門」
「ビジュアルプログラム入門」
「VR(バーチャルリアリティ)入門」

E

Engineering モノづくり、福祉

この領域では、社会で科学をどのように実用化していくか、その過程を学びます。何気ない日常の中にある様々な問題に気づき、どうすれば実現できるかを学びながら、設計の基本的な考え方や手順、様々な機構なども、実際の作業を通じて学んでいきます。この領域に強い関心を持つ受講生は、将来、大学や企業で社会を支え、変革するプロフェッショナルなエンジニアなど、幅広く活躍していくと思われれます。

講座例

「楽しい機械の動き」
「モノを作るための設計と3D-CAD」
「古生物の復元像を作ろう」

A

Arts & Mathematics 科学者・エンジニアの共通教養

本プログラムでは、Arts(教養)とMathematics(数学)を、科学者・エンジニアになるための共通教養を学ぶものとして位置づけています。Artsとしては、自己調整学習理論に基づいた学習方法を学ぶラーニング・カフェや、自分の興味・関心を基にゼロから仕事や会社を作っていくことを目指すキャリアカフェ、保護者が子どもの学習について学ぶペアレンツ・カフェなどを実施します。また、Mathematicsとしては、統計学の基礎を学び、実験などを行ったときに出てきたデータを適切に扱うための能力を培います。

講座例

「デザイン思考を活かしたアイデア創出&発明ワークショップ」
「レジリエンス・トレーニング-強みを伸ばし、失敗や困難を乗り越える力を育てよう-」
「統計学」など

申込方法 (①及び②両方の手続きを行ってください。)

- ① 受講を希望される方は、下記URLまたは右の2次元バーコードから申込み手続きをしてください。

URL <https://forms.gle/Szwttq5PK3AwjViB7>



- ② ①の手続きを行った後、「課題作文」を作成し、「これまでにを行った自由研究等(任意)」がある場合はそちらも記入・同封し、長崎大学ジュニアドクター育成塾事務局まで郵送してください。 ※提出資料のホチキス留めはしないこと。

申込締切

【Googleフォームによる申し込み】 【課題作文】
令和6年 5月12日(日) 厳守 5月13日(月) 必着

※期日を守って申し込まれた方との公平性を保つため、いかなる理由でも締切後の申込みは受け付けません。

提出先 〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14
長崎大学教育開発推進機構生涯教育センター ジュニアドクター育成塾事務局 宛



選考方法および選考結果のお知らせ

- 選考方法 ①1次選考:「課題作文」および「これまでにを行った自由研究等(任意)」による書類選考
②2次選考:オンライン面接(5月下旬から6月上旬を予定)

※面接はZoomで行います。PC、タブレット、スマートフォン等での対応をお願いいたします。

- 選考結果: 6月中旬、電子メールにて通知予定

